



報告会を行った選手の皆さん(中央4名)
左から石川竜多さん(柔道)、江連春樹さん(相撲)、
竹澤隼さん(ライフル射撃)、東野美咲さん(ソフトボール)



3

クラシックの魅力に酔いしれたひととき

昨年惜しまれつつ終了した茨城国際音楽アカデミーinかさまに代わり、今年度からは「かさま音楽フェスタ」奏(かなで)がはじまりました。2月22日(土)には、笠間公民館で「横山幸雄×川久保賜紀×青柳晋 スペシャル・ガラ・コンサート」が開催され、約350名が来場し、美しいピアノとヴァイオリンの音色に酔いしれました。
また、2月24日(月)には地域交流センターいわまで街角コンサートも行われ、笠間の街が音楽に染まりました。

2

埋もれた魅力を掘り起こそう

地域交流センターともべて、地域おこし協力隊川島隊員が企画した「農業経営・発信セミナー」が開催されました。
農業振興を担当する川島隊員が着任してから感じていた「笠間市の農業・農産物の魅力」をもっと伝えたいという思いが詰まったセミナー。
市内外から多くの参加者にお越しいただき、2人組で魅力の発掘からその魅力を誰に伝えたいかアイデアを出し合いました。

2/20

1

茨城国体。解散総会&出場選手報告会

いきいき茨城ゆめ国体笠間市実行委員会の第4回総会(解散総会)が開催されました。
また、引き続き行われた「笠間」にゆかりのある選手の報告会では、男子柔道、相撲、女子ソフトボール、ライフル射撃の選手が登壇し、大会にかけた熱い思いなどを語りました。
関係者の方々をはじめ、大会成功に向け熱い声援を送っていただいた皆さん。本当にありがとうございました。

1/31



スペシャル・ガラ・コンサートの様子



講師のTUMMY株式会社 有本千秋さん(最前列中央)、
地域おこし協力隊川島隊員(最前列左から2番目)



右から、JA常陸 森専務、山口市長



左から、水戸市 高橋市長、笠間市 山口市長

4

笠間・水戸環境組合が解散

2/25

笠間・水戸環境組合において、水戸市が組合から脱退し、解散することに伴い、解散協議書と財産処分に関する協議書の調印式が行われました。
水戸市が新清掃工場稼働にあたり、組合から脱退することから、これまで両市で解散に向けた協議検討を進め、昨年12月、構成市議会(笠間市及び水戸市)で環境組合の解散等について議決を得ました。

笠間・水戸環境組合は3月31日をもって解散し、今後は笠間市単独の運営へと引き継がれ、今まで通り友部・岩間地区のごみ処理を行っていきます。

5

鳥獣被害対策、箱わなを寄贈

3/5

茨城県内の鳥獣被害が深刻な状況になっていることを受け、JA常陸からH30年度に引き続きイノシシの捕獲おり「箱わな」が寄贈されました。

市を訪れたJA常陸の森専務は「大切な農作物を守るために、箱わなを利用して鳥獣被害対策に役立ててください」と話されました。

箱わなは、JA常陸から県北地域管内7市町に10基寄贈される予定です。市では、JAや農家等と協力連携をしながら、丹精込めて作られる農産物を守るためイノシシなどの捕獲に努めていきます。

6

初の試み、市役所で子連れ出勤、テレワークを試験導入

市では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため小中学校の休校に伴い、市役所で初となるテレワークと子連れ出勤を緊急対応として試験導入しました。

テレワーク初日となった3月2日、市の情報政策担当の職員が、自宅勤務。出勤している職員と専用のソフトを通してやりとりを行いながら、市役所にいる時と同じように仕事を滞りなく行うことができました。

また、3月3日から子連れ出勤が行われ、小学校中学年の子どもと職員が一緒に出勤し、子どもたちは宿題や読書などをしながら過ごしました。

今後テレワークや子連れ出勤の効果を検証し、働き方改革の推進を図っていきます。

7

学校給食食材を生かす

3/6
3/11

市内小中学校、義務教育学校が休校を余儀なくされ、それに伴い、用意されていた学校給食の食材を無駄にしないために、関係機関へ配布することで有効利用に努めています。

配布先は、市立保育所や子ども食堂、児童クラブ。

今回の対応について、おいしい給食推進室の根本室長は「緊急の事態であり、一部の食材で仕入れを止める対応が間に合わなかったが、各施設の協力により、少しでも無駄なく活用できたことに感謝しています。今後も食品ロスがでないよう、市として取り組みを進めていきます。」とコメントされました。



食材を受け取る施設の皆さん



子連れ出勤



テレワーク